

防災力

No.4 ~土砂災害対策~

▶危機管理課 ☎73-3119

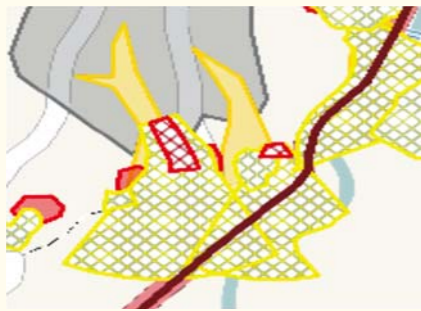
土砂災害の危険度を知る

日本は国土の約7割が山地や丘陵のため、台風や集中豪雨、地震などにより土砂災害が発生しやすい環境にあります。実際に土石流やがけ崩れなどによる災害は、毎年全国で約一千件も発生しています。死者数が二百人を超えた7月豪雨は、記憶に新しいところです。「三豊市総合防災マップ」では、土砂災害の恐れがある土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）を示しています。さらに、より危険度が高い土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）は、建物が壊れたり、大きな被害が生じたりする恐れがあります。まずは、自

分が住んでいる地域の危険度を認しておきましょう。

兆候があれば直ちに避難を

大雨警報が発表され、土砂災害の発生がさらに高まったときには、土砂災害警戒情報が発表されます。これは、がけ崩れと土石流の警戒を呼びかけるものです。発表されたら、市からの避難情報に注意して対応してください。また、土砂災害の前兆現象が現れた時には、市からの避難情報を待たずに避難してください。もし、「無事で良かった」と思うようにしましょう。避難は決して無駄ではありません。



▲ハザードマップでの土砂災害警戒区域・特別警戒区域の記載例

土砂災害から身を守るための3つの心得

- 1 ハザードマップで危険箇所を確認
- 2 雨が降り始めたら情報を確認
- 3 豪雨になる前に早めの避難

こんな前兆現象があったら、注意！ 急いで避難しましょう

夜間の避難は危険ですので、明るいうちから、避難してください。

がけ崩れ



- ・がけにひび割れができる
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出す
- ・湧水が止まる・濁る
- ・地鳴りがする

地すべり



- ・地面にひび割れや陥没ができる
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地鳴り・山鳴りがする
- ・樹木が傾く
- ・亀裂や段差が発生する

土石流



- ・山鳴りがする
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・腐った土の匂いがする
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる

※前兆現象なしに土砂災害が発生する事例もあります。

三豊市うらしまマラソン大会を見に行こう！

11月18日(日)に第3回三豊市うらしまマラソン大会が開催されます。当日は約1,000人のランナーが全国から集まり、瀬戸内海を見渡す海沿いのコースを駆け抜けます。ランナーたちに温かい声援を送りに出かけてみませんか？

「うらしまマラソン」大会実行委員長に楽しみ方を聞きました



実行委員会委員長 山田健二さん

水出運動公園や神島化学工業の近くは海沿いのコースとなっております。ランナーたちが気持ちよく走ってきます。応援と合わせて、景色も楽しんでください。

また、メイン会場には浦島太郎さんも来てくれます。一緒に応援したり写真撮影することもできますよ。他にも、瀬戸内シーサイドマルシェが出店しますので、買い物も楽しめます。

大会に出場します！



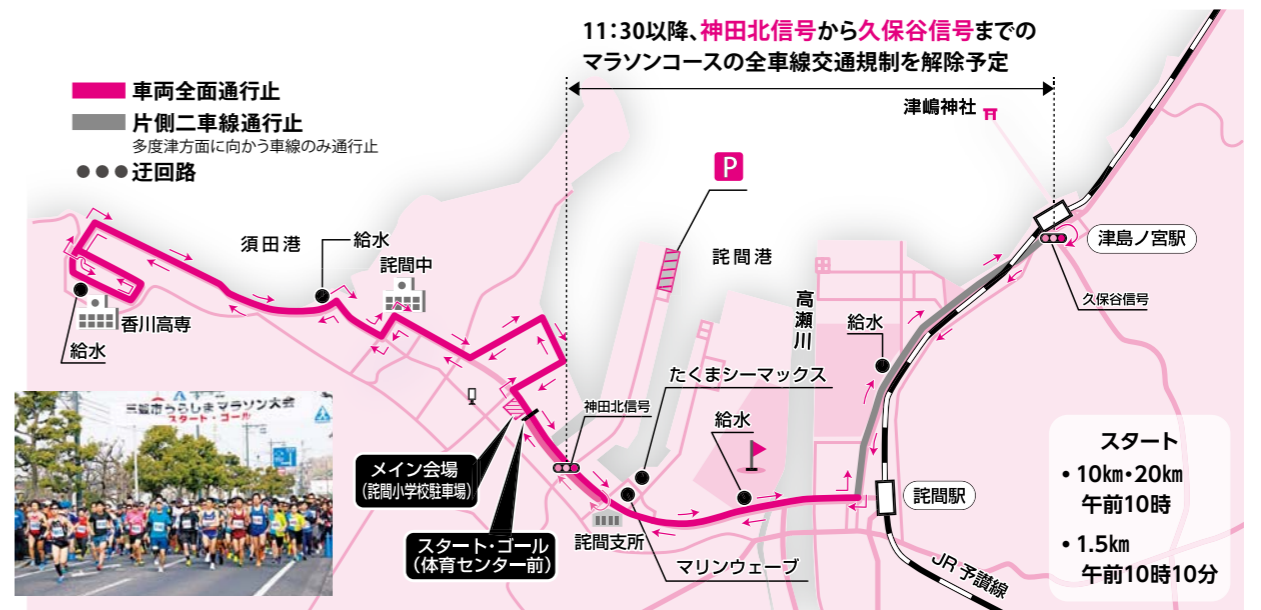
津嶋さんに向かうコースが上り坂になっているので、ここで応援してもらえると嬉しいです。

また、ラストパートをかけるゴール手前での応援も力になります。ピンク色のユニフォームを見かけたら、ぜひ声をかけてください！

◀たくまシーマックスのジョギングサークル「海満隊」の皆さん

交通規制のお知らせ

日時 11月18日(日) 午前9時45分～午後1時15分



※午前8時～9時の間、駐車場からメイン会場まで無料シャトルバスを運行します。

▶問い合わせ 三豊市うらしまマラソン大会実行委員会 ☎83-3125